

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		無電柱化推進事業		路河川名等		(一)旧軽井沢軽井沢(停)線	
事業毎の通番		1		市町村名		軽井沢町	
事業目的		(一)旧軽井沢軽井沢(停)線は、JR軽井沢駅から旧軽井沢銀座を結ぶ幹線道路であり、年間を通じて大勢の観光客が訪れる国際親善文化観光都市軽井沢(かるいざわ)の玄関口です。当区間の歩行者自転車数は、平日12hで1400人余りを数え、無電柱化の推進により、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、防災面の向上を図るとともに商店街の活性化が期待される。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		農山村産業クラスター形成PJ		事業実施の根拠法令等		道路法 電線共同溝の整備等に関する特別措置法	
関連する事業、計画等		軽井沢町都市計画マスタープランにより本エリアを町の「中心核」と位置付けられている。軽井沢町長期振興計画により面的な整備が図られている。					
保全対象・範囲 受益対象・範囲		軽井沢駅～旧軽井沢銀座への歩行者、災害時の通行車両他					
着手年度		平成28年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		2.0	
全体事業内容(主な工種)		電線共同溝設置 L=580m(整備延長1160m)		事業費(千円)		400,000	
年度事業内容(主な工種)		支障物件移転補償 水路移設工		費用対効果		80,000 / 44,000	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 歩道空間を占有している電柱の地中化により、快適・安全な歩行空間が得られる。 無電柱化により、災害時等の電柱転倒、電線垂れ下がりによる交通障害の発生がなくなる。 間接的効果(定量的・定性的) 道路空間の圧迫感解消により、沿道の良好な景観が得られる。 良好な景観、快適な歩行空間の形成により、市街地の活性化が見込める。					
必要性		一日当たりの交通量は、車両5,680台、歩行者1,140人、自転車334台と非常に多く、円滑な通行、安全な歩行空間の確保のため、無電柱化が必要である。				評価	
重要性		当該地は、軽井沢町都市計画において、商業地区となっており、軽井沢町都市計画マスタープランによりエリア一体が町の中心核と位置付けられており、安全な歩行空間の確保や良好な景観形成が重要である。				評価	
効率性		費用対効果は1.5以上であり、5年未満の早期事業完成により効率的に事業を行う。				評価	
緊急性		軽井沢町長期振興計画の面的な整備がされるなか、軽井沢駅、新軽井沢会館などの公共施設が立地しており、緊急的に事業を行う必要がある。				評価	
計画熟度		地域住民や町から事業計画に対して要望があり、関係者を中心に事業説明会を開催して周知することにより合意形成を図っている。				評価	
部意見		長野県を代表する観光地であり、駅前からの無電柱化が一部完了しているため、広域的な整備により良好な景観形成、歩行者空間の確保に必要な事業である。		行政改革課意見		無電柱化により安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び防災信頼性の向上を図ることから、必要性、重要性が認められる。 評価結果 ○ 総合評価 B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

電線共同溝設置工 L=580m

至旧軽井沢

至軽井沢駅

無電柱化完了区間約450m

事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

歩道空間に電柱が林立し、上空、商店街の視界を電線が占有している。隣接区間は、無電柱化により快適な歩行空間及び良好な景観が確保されている。

災害時には、電柱転倒による交通マヒ、住民活動に支障が生じる。

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 全国的に欧米諸国に比して電線地中化の遅れにより、安全で快適な通行空間の確保上、都市景観上、都市防災上及び安定供給上の支障が生じている。当該個所においても、軽井沢駅、新軽井沢会館に近接するなか、電柱、電線が設置されており、安全で快適な通行空間確保、都市景観向上、都市防災のため、無電柱化事業が要望されている。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり 地域要望により軽井沢町から要望が挙げられている。地元団体により植樹帯の除草等の活動が行われている。

③事業説明等の経緯 平成26年6月27日に地元から推進の意向を確認した。平成26年10月9日に沿線区へ事業説明を行い、合意形成を深めた。

④他事業・プロジェクトとの整合、関連 軽井沢町長期振興計画により、面的な整備がされている。

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮 植樹帯等の設置により環境へ配慮する。

⑥地域活性化への影響と配慮 無電柱化による沿道空間の圧迫感解消により、良好な景観を形成し、商業活動等の地域活性化に寄与する。

⑦その他

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36° 20' 55"
東経:E 138° 38' 4"